

2017 SWIM Workshop Call For Papers

2017 電子情報通信学会ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM) 研究会

SWIM 研究会ワークショップ(査読付論文および査読なし論文)2017

東京理科大学 神楽坂キャンパス 富士見校舎 (東京都千代田区)

開催日: 2017年12月2日(土)

主要テーマ: “モデリングの実装、一般(ワークショップ)”

Paper Submission Guidelines:

- ・ **発表申込**: 次のURLから登録してください。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tid=SWIM&lang=jpn>

(「査読なしの投稿」を希望される方は、通常の研究会の登録・原稿提出となります。)

- ・ **論文提出**: 論文原稿(PDF)をメール添付で次の宛先に送付してください。

shinkawa@rins.ryukoku.ac.jp (査読委員長: 龍谷大学 新川教授)

- ・ **論文形式**: 次のURLを参照してください(通常の電子情報通信学会の研究会の投稿形式)。

<http://www.ieice.org/jpn/kenkyuukai/shorui.html>

(論文のページ数: A4版4~8頁、言語: 日本語又は英語、ファイル形式: PDF)

※査読のポイント(査読付き論文の場合)は次の項目になります:

SWIM研究会との関連性、技術的正確さ、新規性、実務への有用性、構成と読みやすさ
査読付き論文の場合は、2名の査読者により査読を行います。

論文はSWIM研究会報告書の2017年第3回に掲載され、査読合格論文に対しては「査読を経て採録された」ことを明記します。また優秀論文は学会誌へ推薦することになります。

Important Date:

発表申込締切	9月22日(金)	(電子情報通信学会の研究会のページで申し込む。)
論文提出締切	9月25日(月)	(査読委員長宛てメールに添付し提出する。)
査読結果通知	10月18日(水)	(査読委員長からメールで通知される。)
最終論文提出	11月3日(金)頃	(電子情報通信学会の研究会のページにアップロードする。 正式な提出期限は事務局から通知されます。)

The topics of interests:

募集テーマ: SWIM研究会の研究領域の「基本テーマ」となる次の項目とします。

- A. モデリングの実装
- B. 情報システム一般
- C. IT基盤

対象: 詳細は <http://www.ieice.org/iss/swim/jpn/index.html>

- ・ ビジネス構想技術、インタプライズ情報システム設計技術、確認・評価・検証技術、インタプライズ運用技術、社会ソリューション、ビッグデータ活用システム、CPS (Cyber Physical System)、Web利用基盤、IoT、クラウドコンピューティング

Steering Committee: 宇田川佳久(東京工芸大学)、新川芳行(龍谷大学)、荻野正(明星大学)、結城修(キャン)、片岡信弘(元東海大学)、丸山文宏(富士通研)、能上槇也(東京理科大学)

Workshop Chair: 宇田川佳久(東京工芸大学) udagawa@cs.t.kougei.ac.jp